

応募の注意点

●文字数について

空白を含む2,000~4,000字(参考文献・出典は含みません)



原稿用紙で
書くなら

400字詰め原稿用紙
※タテ20字×ヨコ20行



パソコン原稿で
書くなら

1行20字詰め
※1枚につき30行以内

◎作品募集ホームページ(<https://www.ron2021.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

●応募について

個人で応募する場合

- 下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。
- 作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。

学校単位で応募する場合

- 学校宛てにお送りしています学校専用応募用紙にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ<<https://www.ron2021.jp/>>からダウンロードすることもできます)。
- 下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上の作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。

◎入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。

◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

小論文を書くにあたってのご注意

・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。

・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。

※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。

・各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。

・ご応募いただいた作品が「盗用」であると認められた場合、審査の対象外となります。また、後日判明した場合は、入賞の取り消しをさせていただきます。

参考文献の明記

・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、小論文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。

引用するときの注意点

・他の人の文章は、なるべく使用しないようにしましょう。

・どうしても使用したいときには、引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、小論文の最終ページに必ず出典を記載してください。

・かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して小論文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて ●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。 ●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはできません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合については、その要求に応じることができます。 ●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

第19回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル

ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立	学校	年

学校住所 (〒 -)

都道
府県

市 区
郡

学校電話番号 () - 学校FAX番号 () -

※マンション、アパート名等も必ずご記入ください。

自宅住所 (〒 -)

都道
府県

市 区
郡

電話番号(日中連絡の取れる先) () - FAX番号 () -

下記のアンケートにご協力ください。

◎このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌(媒体名) 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他 ()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。

知るぽると
www.shiruporuto.jp



第19回

金融と経済を考える高校生小論文コンクール



金融広報中央委員会は
全国の高校生・高等専門学校生・高等専修学校生等を対象に
「金融と経済を考える」小論文を募集しています。
みなさんがふだん考えていること、
調べたことなどをまとめてご応募ください。

特選5編

(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞
文部科学大臣賞
日本銀行総裁賞
全国公民科・社会科教育研究会会长賞
金融広報中央委員会会長賞

秀作5編

(賞状と奨学金3万円)

佳作10編(賞状と図書カード6千円分)

学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)

9月20日
しめきり!!
消印有効

[主催]金融広報中央委員会

[後援]金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会、全国家庭科教育協会、日本私立中学高等学校連合会





テーマは、金融や経済に関することであれば、どのようなものでも構いません。テーマを考えるときの参考として、以下に例を示します。
ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。
テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル（題）をつけてください。

◆テーマの例

1. あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職をつける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

3. 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や環境にやさしいエコ商品、あるいはデジタル関連サービスやゲーム・アニメといったコンテンツ産業——。新たな経済活動が活発になっています。観光や特産品による地域おこしの動きも、全国各地で見られます。あなたが注目する産業について特徴をまとめ、将来有望であると考える理由を述べてみましょう。

第19回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、中等教育学校生（後期課程）、高等専門学校生（3年生まで）、高等専修学校生

[賞] ●特選5編（賞状と奨学金5万円）

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作5編（賞状と奨学金3万円）

●佳作10編（賞状と図書カード6千円分）

●学校賞（特選受賞者在籍校）5校（賞状と図書カード1万円分）

[締め切り] 2021年9月20日（月）※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ（<https://www.shiruporuto.jp/>）などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

*インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って

応募フォームにより送信してください。<https://www.ron2021.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818（土・日・祝日を除く10時～17時）

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2021.jp/>

小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えたいこと。

金融教育は、社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」という4つの分野に分けられ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」（事務局：日本銀行情報サービス局内）は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考え方を聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から1,802点の作品が寄せられ、40点が入賞作品に選ばされました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



第18回
(2020)

受賞作品の紹介

https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/

金融担当大臣賞

祖母から学んだ経済戦略
大分県 大分東明高等学校 2年
安部 萌由子さん

作品の内容 別府明鑑（みょうはん）温泉名物「地獄蒸しふリン」の生みの親である祖母から、「常に周りに目を向ける」「自分の『したい』を実行に移す」「気張らない」という仕事に対する姿勢を学んだ筆者。祖母のプリン屋が24年間続き、利益を上げることができたのは、仕事を楽しむ心がお客さんに伝わったのではなく分析し、自身も祖母を目標に多くの教養と経験を積みたいと結びます。「祖母の体験をかみ砕いて分析している」点が評価されました。

受賞者の声 私はもともと小論文を書くのが得意ではなく、最初は何を書けばいいのか分かりませんでした。そこで目をつけたのが祖母の体験でした。「小論文」と聞くと、難しいイメージを持つ人が多いと思いますが、身近に目を向けると題材はたくさん転がっています。体験談を話してくれた祖母に、感謝しています。

文部科学大臣賞

株式投資で考える日本の未来
茨城県 江戸川学園取手高等学校 1年
森矢 あかりさん

作品の内容 コロナ禍で応援したい企業に対し、特別定額給付金を元手に株式投資を始めた筆者。投資を学ぶ中で、日本の個人金融資産に占める投資商品の割合が、先進国の中で圧倒的に低いことを知ります。段階的に踏み込んだ金融教育が行われれば、資産運用に興味を持つ人が増えるのではないかと分析し、自身も祖母を目標に多くの教養と経験を積みたいと結びます。「祖母の体験をかみ砕いて分析している」点が評価されました。

受賞者の声 コロナ禍だからこそ投資という経験ができる、経済についても学びを深めることができます。たとえば、祖母が「バトンを渡された」と感じた筆者は、農業で働きに見合った収入、安定した収入を得るにはどうすべきか、関係者に話を聞き、農作物の流通について理解を深めています。そして、自然と共存した農業、無農薬の作物の良さを伝えることを目標に、夢の実現のため努力すると誓います。「高校1年生ながら進む道を宣言した清々しい文章」と評されました。

日本銀行総裁賞

自然と共存し人に優しい農業とは
鳥取県 鳥取県立日野高等学校 1年
白迫 健翔さん

作品の内容 曾祖母の影響で農業を学ぶ高校に進学した筆者。入学式当日に他界した曾祖母から「バトンを渡された」と感じた筆者は、農業で働きに見合った収入、安定した収入を得るにはどうすべきか、関係者に話を聞き、農作物の流通について理解を深めています。そして、自然と共存した農業、無農薬の作物の良さを伝えることを目標に、夢の実現のため努力すると誓います。「高校1年生ながら進む道を宣言した清々しい文章」と評されました。

受賞者の声 農業をしたいという決意と農業の重要性を知ってほしい思いで書きました。その思いを高く評価していただけて大変嬉しいとの同時に信じられない気持ちでいっぱいです。生きていこうためには欠かせない「食」を支える農業の魅力を多くの人に知ってほしいです。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

お金がすべてじゃない
東京都 東京都立国際高等学校 2年
山崎 帆希さん

作品の内容 「お金と幸せ」の関係を探るため、自らアンケートを実施した筆者。花屋を営む父から「お金は努力の対価であり、それ以上にお客様の喜びや笑顔に幸せを感じる」との考えを聞きます。さらに、国際的なデータの考察から、お金を幸せの基準と考えていない人の多いとの結論に至り、「幸せの基準をお金に合わせている人に対し、一番必要なものはお金ではないと伝えたい」と結びます。「オリジナリティが感じられる展開」と評されました。

受賞者の声 日々の生活で幸せの基準をお金に合わせてしまうことは私も含め、誰にでもあることだと思います。この小論文を読み返して改めて、お金に左右されず、自分が心からやりたいと思うことを選択して、幸せを感じられる人になりたいと思いました。

金融広報中央委員会会長賞

これからの消費者教育の在り方
兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年
江崎 友紀さん

作品の内容 パン屋で有料レジ袋を初めて購入した際に「立派な契約だね」と母に言われ、身の回りのほとんどのことは「契約」で成立していると気付いた筆者。民法改正により18歳で「大人」になる筆者は、18歳で自己決定権が尊重され、社会参加が促進できる反面、社会経験の浅い新成人が悪徳業者に騙されないよう消費者教育を充実させる必要があると論じます。「消費者教育の重要性について自分の意見をしっかりと述べている」と評されました。

受賞者の声 消費者教育は、今後ますます重要になります。前進していくかなくてはなりません。正しい知識と適切な判断力を身に付け、活気ある社会参加を目指します。そして、私を含めた若い世代が日本経済に新しい風を吹き込めるような社会となることを願っています。

秀作

現金とキャッシュレス決済が共存する為に
青森県 青森森の星高等学校 2年
肴倉 ほの花さん

外国人労働者と貧困
東京都 東京都立国際高等学校 2年
金井 美樹さん

これからの日本において
大分県 大分東明高等学校 2年
鳥井 ゆりあさん

みんなで豊かになるために
大分県 大分東明高等学校 2年
宮川 桜さん

笑顔を守りたい
愛知県 愛知県立半田商業高等学校 3年
大堀 ありさん

学校賞

茨城県 江戸川学園取手高等学校
東京都 東京都立国際高等学校
兵庫県 西宮市立西宮高等学校
鳥取県 鳥取県立日野高等学校
大分県 大分東明高等学校

天野 晴子（日本女子大学教授） 松島 斎（東京大学大学院教授） 山田 真哉（公認会計士・税理士）

中村 香織（金融広報中央委員会） 藤野 敦（文部科学省初等中等教育局視学官） 大山 敏（全国公民科・社会科教育研究会会長）
林 新一郎（日本銀行情報サービス局長） 武井 敏一（金融広報中央委員会会長）